

## 二字交替漢字語の六分類 —日本語・中国語における成果と課題と—\*

菅野 憲司

キーワード：二字交替漢字語、日本語、中国語、右側主要部規則、左側優先性原則

*S*さん：芥川賞作家の『花火』を読みましたか？

*A*くん：映画も、又吉直樹なら『火花』では？

*M*さん：『花火』か『火花』か、それが問題？

### 1. はじめに

本稿は、菅野(2002, 2003)でまとめられた、日本語二字交替漢字語の六分類を枠組みとして、中国語二字交替漢字語を考察する。

第2節で、日本語二字交替漢字語の六分類を示し、6タイプの関係図が提示される。第3節で、右側主要部規則 (the Right-hand Head Rule) が示され、日本語二字交替漢字語の4タイプで検討し、第4節で、左側優先性原則 (the Left-hand Priority Principle) が提示され、日本語二字交替漢字語の主に2タイプが吟味される。第5節で、中国語二字交替漢字語の実例が示され、第6節で、日本語・中国語二字交替漢字語の分類成果3点が示され、第7節で、残された課題3題が確認されて、第8節が、全体のまとめである。

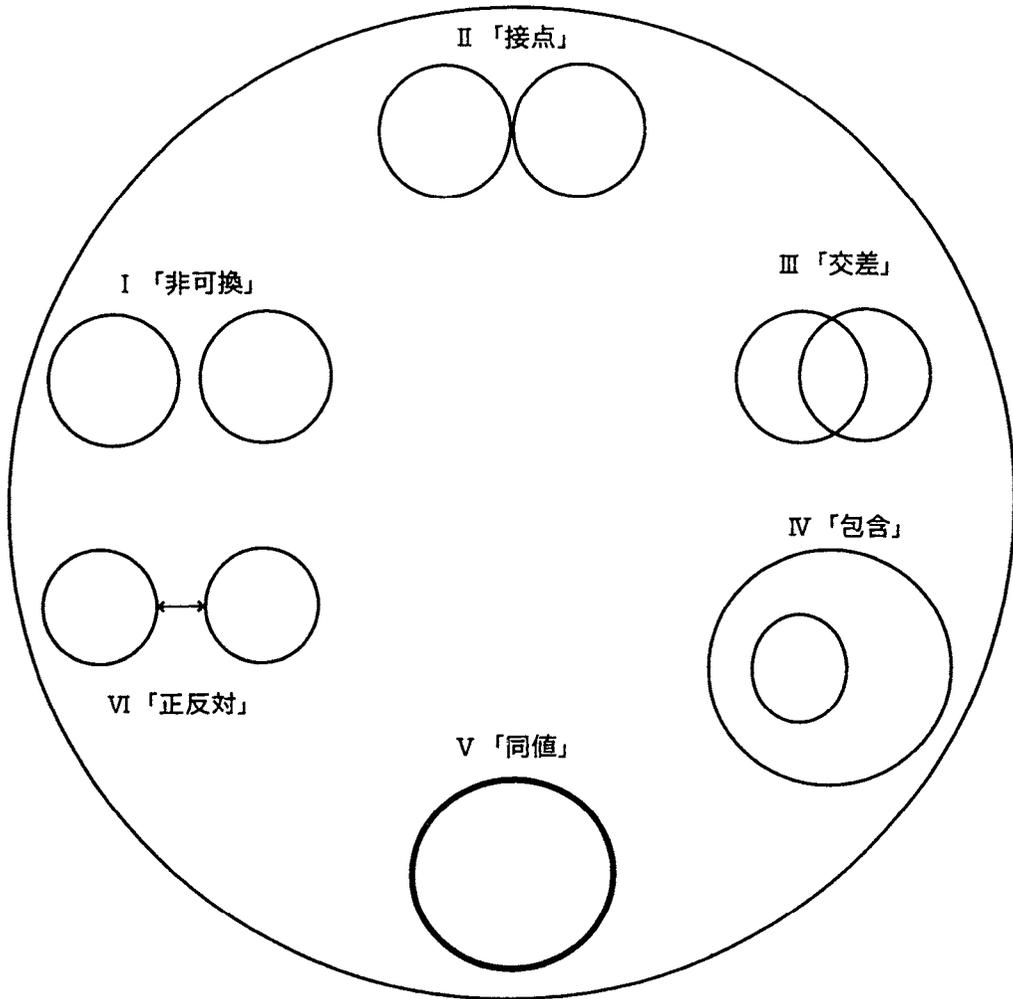
### 2. 日本語二字交替漢字語の六分類

菅野(2002)で、日本語二字交替漢字語<sup>1)</sup>が四分類され、菅野(2003)で、更に二分類が加わり、日本語交替漢字語が、次のように六分類された。

- (1) 「非可換」 国王・王国や女王・王女、等々
- (2) 「接点」 青緑・緑青と伝絵・絵伝 (= 詞絵・絵詞)
- (3) 「交差」 木材・材木や議論・論議
- (4) 「包含」 子女・女子や離別・別離
- (5) 「同値」 早慶・慶早 (の同類) と社寺・寺社
- (6) 「正反対」 英和・和英や独仏・仏独

この六分類は、菅野(2003; 270)に載せられた(7)6タイプの関係図で、まとめることができる。

(7)6タイプの関係図



### 3. 右側主要部規則

Williams(1981)で提案された、the Right-hand Head Rule 即ち右側主要部規則は、菅野(2002)や菅野(2003:271)でも、次のようにまとめられている。

- (8) 右側主要部規則 (the Right-hand Head Rule) : 語において右側が主要部 (Head) である。左側から書きはじめる横書きを前提として、語が XY と成り立っていれば、Y の方が主要部 (Head)、X の方が修飾部 (Modifier) である。

菅野(2003:271)の説明を補足しつつ、右側主要部規則の適用を再確認すると、次の下線が引かれた方が、主要部である。

- (1) 「非可換」 国王・王国や女王・王女、等々
- (2) 「接点」 青緑・緑青と伝絵・絵伝 (=詞絵・絵詞)
- (3) 「交差」 木材・材木や議論・論議
- (4) 「包含」 子女・女子や離別・別離

(1) 「非可換」・(2) 「接点」・(3) 「交差」では、義務的に適用され、右側が主要部で、左側が修飾部である。「非可換」の場合、AB・BA で、A と B が同義ではなく、主要部が相違して、 $AB \neq BA$  になり、「交差」の場合、AB・BA で、A と B が同義である程に、主要部 (に加えて) 修飾部も類似して、 $AB \approx BA$  になる。

ただし、「接点」は、A と B が、等量でなければ、「非可換」で、A と B が等量に成り得る 1 点でだけ、 $AB=BA$  で、「交差」の交わる部分に相当し、AB も BA も、等位構造をなしている。

(4) 「包含」では、実例中、女子のみ、右側主要部規則が義務的に適用され、離別・別離では、右側主要部規則の適用は可能性が五分五分で、右側主要部規則が随意的に適用されるとみなされ、子女は、意味的に等位構造をなし、右側主要部規則は、無適用、即ち適用されてはならない。

### 4. 左側優先性原則

前節の右側主要部規則適用は、右側を主要部、左側を主要部ではない修飾部とに識別する役割を担っているのに対して、「接点」でも右側と左側が等量の場合や、「包含」の子女は、等位表現をなし、菅野(2002)や菅野(2003:271)でも、次のようにまとめられている。

- (9) 等位表現の主要部 : 語等の等位表現 XY において、X と Y の両方が主要部 (Head) である。

更に、菅野(2003:272)では、the Left-hand Priority Principle 即ち左側優先性原則が提案されている。

(10) 左側優先性原則 (the Left-hand Priority Principle) ; 語等の等位表現 XY において、左側の X が、右側の Y よりも、優先される。

菅野(2003:272)では、n を自然数とした場合、2n の偶数は等しく n と n に分けられても、2n+1 の奇数の場合、野球の前半 5 回と後半 4 回のように分けられるという素朴な説明がなされており、もう一言付け加えれば、等位構造以外で右側主要部規則が適用されるならば、等位構造では、選択の余地なく、優先されるのが、反対側の左側と説明できないこともない。

菅野(2003:272)や直前の説明を踏まえて、左側優先性原則の適用を再確認すると、次の斜字体の方が、優先される。

(5) 「同値」 早慶・慶早 (の同類) と 社寺・寺社

(6) 「正反対」 英和・和英や 独仏・仏独

(5) 「同値」は、左側が優先される場合と、左側が優先されないものの XY か YX の一方が選ばれなければならない場合があり、前者が左側優先性原則の適用を受け、後者が左側優先性原則の適用を受けず、左側優先性原則の随意的適用である。因みに、(4) 「包含」の離別・別離も、この点で、(5) 「同値」同様。

(6) 「正反対」は、必ず、左側が優先されなければならない、左側優先性原則の義務的適用である。一言附言すれば、この (6) 「正反対」は、(1) 「非可換」と同様に、XY と YX が全く交わらず、しかし、(1) 「非可換」が、必ず、右側が主要部であり、これとは対照的に、(6) 「正反対」は、必ず、左側が優先される。

尚、「接点」でも右側と左側が等量の場合や、「包含」の子女は、等位表現をなし、右側が主要部にならないものの、左側が優先されることも有り得ず、左側優先性原則が、無適用であり、左側が優先されてもならない。

## 5. 中国語二字交替漢字語、その分類

中国生活を中国語でご経験の方々や、中国語母語の方々に、中国語二字交替漢字語を複数ご教示頂き、提供の方々のご意見と私の判断で、その分類は、次のようにまとめることができる。

(11) 中国語二字交替漢字語とその分類

①「非可換」<sup>2)</sup> 日本語の国王・王国 → 中国語の国王・王国

故事（物語）・事故（事故）

棒球（野球）・球棒（バット）

牙刷（歯ブラシ）・刷牙（歯を磨く）

牛奶（牛乳）・奶牛（雌の牛）

小心（注意してください）・心小（心が小さい）

開心（楽しい、愉快だ）・開心（心を開く）

人情（海千山千）・情人（恋人）

工人（労働者）・人工（人が手を加える）

下流（賤しい）・流下（垂れ流しする）

美国（アメリカ）・国美（国家が美しい）

立国（建国）・国立（国の）

②「接点」日本語の青緑・緑青 → 中国語の蓝绿色・铜绿（中国語は二字交替漢字語ではない）

「墨緑・緑墨」（濃いめの緑色）

「紅烏・烏紅」（濃いめの赤色）

③「交差」日本語の木材・材木 → 中国語の 木材・木头（木料）（中国語は二字交替漢字語ではない）

和平・平和<sup>3)</sup>

天晴（天気が晴れている）・晴天（天気が晴れている）

天陰（曇り）・阴天（曇り）

喜欢（好き）欢喜（嬉しい）

代替・替代（かわる）

嫉妒・妒嫉（嫉妬する）

相互・互相（お互い）

代替・替代（替わる）

同一・一同（いっしょに）

内部・部内（内側）

外部・部外（外側）

④「包含」日本語の子女・女子 → 中国語の儿女（子女）・女儿（女子）

馬車・車馬（自動車や馬車）

北京・京北（北京の北部）

⑤「同値」日本語の早慶・慶早 → 中国語の早慶・慶早（韓国語には高延・延高があり）

日韓・韓日

中英・英中

日中・中日

⑥「正反対」<sup>4)</sup>日本語の和英・英和 → 中国語の 日语英语・英语日语（日本語で、日はより生産的）

英汉（漢）・汉（漢）英

日韓・韓日

中英・英中

日中・中日

次節で、分類の成果がまとめられ、次々節で、残される課題が、提示される。

## 6. 成果3点

第1、前節の(11)中国語二字交替漢字語とその分類に、収まらない中国語二字交替漢字語が、見当たらないことである。つまり、日本語二字交替漢字語の六分類、それをまとめた(7)6タイプの関係図に、中国語二字交替漢字語が分類し尽されるという点である。

第2、「包含」では、日本語二字交替漢字語では、子女・女子以外で、離別・別離（離別＝別離＋離婚）等の微妙なものしか見付けられなかったのに対して、中国語二字交替漢字語で、具体的な馬車・車馬（自動車や馬車）と北京・京北（北京の北部）が見付けられた点である。二字交替漢字語の「包含」では、中国語の方が、日本語よりも、この傾向が強いのかも、興味が尽きないとも言えないこともない。

第3、「同値」と「正反対」では、注<sup>4)</sup>の「正反対」にだけ、中国語で、汉（漢）が、日中（中日）両語で、和と漢が使用されているという部分を除いて、「同値」日韓・韓日（関係）と「正反対」日韓・韓日（辞典）のように、一方が可能なものは、他方でも可能であることが、日中（中日）両語で成り立っている点である。左側優先性原則の辞意的・義務的差はあれ、適用可能性が存在することとの関連性も伺われそうである。

## 7. 課題3題

第1、成果の第1とは裏腹に、中国語二字交替漢字語では、「接点」に該当する事例がない可能性が残っており、これは、喫緊の課題である。日本語の青緑・緑青は、12色相環が中学校美術科教育の賜物で、同様の条件で定着するという見方も可能であり、「墨緑・緑墨」(濃いめの緑色)や「紅烏・烏紅」(濃いめの赤色)は、「同値」の可能性も確認に値する。また、「接点」の日本語二字交替漢字語もう一つの実例である、伝絵・絵伝(=詞絵・絵詞)<sup>5)</sup>は、15年以上も関しても、類例が一つも見つからないのが実情であるものの、中国語二字交替漢字語で類例が見つかるのかどうか、興味深くも、promisingとも考え難い。

第2、日本語二字交替漢字語「同値」早慶・慶早(の同類)との唯一の類例である社寺・寺社が、中国語二字交替漢字語には、このような実例として存在するののかという課題である。中学校社会科教育では、社寺が教えられ、「交差」の木材に相当し、日常的には、寺社が使われ、「交差」の材木に相当する、果たして、中国語二字交替漢字語に類例は見つかるのかどうか、やはり、興味深くも、promisingとも考え難いのだろうか。

第3、日中(中日)両語で、事例が豊富な、「非可換」における、流血(V0)・血流(OV)のような、動詞Vと目的語0で構成される二字交替漢字語の生産性に、日中(中日)に差異があるのか、差異があるならどちらが生産的かという、課題である。例えば、流血・血流の血流は、『現代中国語辞典』光星館に、「血流(xue 4声 liu 2声)」と載せられているも、『実用中日日中辞典』隆美出版にも、『日中辞典』(小学館)にも、掲載なく、インターネットのgoogle翻訳では、流血の中国語は「流血」、血流の中国語は「血流量」と、若干の相違が認められ、これに対して、「流血不止」や「出血不止」が可能でも「血流不止」と言われ、中国語では、流血が通例、血流が異例で、日本語は、流血も血流も通例で、流血・血流では、日本語の方が、二字交替漢字語の生産性が大きく、流血(V0)・血流(OV)において、中国語以上に日本語が、血流(OV)を血流(SV)とも解釈可能性が高いと、予測できそうである。

## 8. まとめ

以上、日本語二字交替漢字語の六分類を、枠組みにして、中国語二字交替漢字語を考察し、成果を3点報告し、課題を3題提示した。

### \*謝辞

池田健雄さん、富野光太郎さん、戴愛玲さん、孙茗璐さん、刘思柔さん、闫津漪さん、謝姝雯さんと李雨晴さんには、中国語の二字交替漢字語を主として、ご教示頂きまして、記して、感謝申し上げます。

## 注

1) 参考文献の通り、菅野(2002)も、菅野(2003)も、二字交替漢語を使ったのであるが、和語に対しての漢語とは限らないので、既に論文題目等で用いているように、本稿では、二字交替漢字語を使用する。

2) 「非可換」で、水流・流水や電光・光電も、ご教示頂いている。

3) 日本語では、ベトナム和平/?ベトナム平和や?世界和平/世界平和で、中国語では、世界和平に問題なく、平和が英語の calm に近く、日本語と中国語で差異は認められるものの、この差異は交わりの程度に反映されると考えて、日中(中日)両語で「交差」に分類されることで、差支えがないと考えられる。

4) 「正反対」は、第4節左側優先性原則でも触れたように、「同値」と、左側優先性原則が義務的・随意的な適用かで、峻別されるのに加えて、「正反対」にだけ、中国語で、汉(漢)が、日中(中日)両語で、和と漢が使用されている。

5) この実例は、史学科/史学コースの池田忍先生にご教示頂いた。

## 参考文献

菅野憲司(2002)「二字交替漢語における可換性—青緑・緑青と早慶・慶早の意味合い—」  
『千葉大学 人文研究』第31号、230-246頁。

菅野憲司(2003)「二字交替漢語の六分類とその関係—右側主要部規則と左側優先性原則—」  
『千葉大学 人文研究』第32号、261-274頁。

香坂順一(編、1982)『現代中国語辞典』光生館。

孫猛・王曙光(編、2003)『実用中日日中辞典』隆美出版。

北京对外経済貿易大学・北京商務印書館・小学館(編、1987)『日中辞典』小学館。

Williams, Edwin (1981) “On the Notions ‘Lexically Related’ and ‘Head of a Word’ ”  
*Linguistic Inquiry* 12: 245-274.

(かんの けんじ・千葉大学人文科学研究院)

## **Six Groups of Two-Alternative-Chinese-Character Words: Both Success and Problems in Chinese as well as Japanese**

KANNO Kenji

### **Summary:**

The aim of this paper is to consider Chinese Two-Alternative-Words in the framework of Kanno(2002, 2003). Chinese Two-Alternative-Words are described within this framework.

Three successful results are shown. They are related to 子女(boys and girls)・女子(girls), 日中・中日〔関係〕(Japanese-Chinese/Chinese-Japanese relation), and 日中・中日〔辞典〕(Japanese-Chinese/Chinese-Japanese dictionary).

Three remaining problems are presented. They are connected with 青緑(blue green)・緑青(green blue), 社寺(shrine temple)・寺社(temple shrine), and 流血(bloodshed)・血流(blood flow).